

心は山にありました。

最期まで山で

最期までふたりで

ある夫婦と支える家族、

25年を記録した

ドキュメンタリー映画

ナレーション 吉岡秀隆

ふたりの 桃源郷



文部科学省特別選定

(青年向き・成人向き・家庭向き)

山口放送開局60周年記念作品 佐々木聡 監督作品 製作著作 山口放送 協力 日本テレビ系列 NNNドキュメント 2016年/75分/カラー/HD/日本/ドキュメンタリー

特別協賛 西京銀行 東ソー 富士フィルム ロート製薬 後援 山口県教育委員会 山口県社会福祉協議会

<http://kry.co.jp/movie/tougenkyou/>

配給 G 東宝



夫婦とは、
家族とは？
“生きること”の
原点が
ここにある。

誰もが自分や家族に重ねずにはいられない、25年間の貴重なドキュメント。

山口県のローカル放送局・山口放送が、ある夫婦と彼らを支える家族の姿を足かけ25年にわたり追いかけたドキュメンタリー。カメラが静かに捉え続けた、電気も水道もない山で暮らす夫婦と、離れて暮らす家族の姿は、多くの人々の心を掴み、再放送を望む声が局に寄せられるなど大反響を呼んだ。山口県内および日本テレビ系列「NNNDキュメント」で長きにわたり放送され、「第4回日本放送文化大賞 テレビ・グランプリ」ほか数々の賞を受賞した伝説のシリーズ、待望の映画化!

山口県岩国市美和町の山奥で暮らす田中寅夫さん・フサコさん夫妻。二人が、電気も電話も水道も通っていないこの山で暮らすには、ある理由がありました。山は、戦後まもなく一からやり直そうと自分たちの手で切り開いた大切な場所。高度経済成長期に大阪へ移住し、三人の子供たちを育て上げた寅夫さんとフサコさんでしたが、夫婦で還暦を過ぎた時、「残りの人生は夫婦で、あの山で過ごそう」と、思い出の山に戻り、第二の人生を生きる道を選んだのでした。畑でとれる季節の野菜、湧き水で沸かした風呂、窯で炊くご飯…かけがえない二人の時間に、やがて「老い」が静かに訪れます。山のふもとの老人ホームに生活の拠点を移した後も、山のことが心から離れない二人。離れて暮らす家族の葛藤と模索。そして夫婦亡き後、残された家族に〈芽生えた〉ものとは――？そこには、現代における“幸せの形”のヒントがありました。



ナレーション 吉岡秀隆(俳優)

1970年生まれ。代表作にTVドラマ「北の国から」、映画「男はつらいよ」、映画「ALWAYS 三丁目の夕日」など

ナレーション：吉岡秀隆 監督：佐々木聡 企画：赤尾嘉文 製作指揮：岩田幸雄 プロデューサー：久保和成 アシスタントプロデューサー：藤村剛
特別協賛：西京銀行 東ソー 富士フィルム ロート製薬 後援：山口県教育委員会 山口県社会福祉協議会 協力：日本テレビ系列 NNNDキュメント
製作著作：山口放送 配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション 宣伝美術：成瀬慧 映像協力：アメリカ国立公文書館(資料映像) 福岡市(資料提供)
2016年/87分/16:9/カラー/HD/日本/ドキュメンタリー @tougennyoumovie fb/official.tougennyou/ http://kry.co.jp/movie/tougennyou/ (株) (有)

【お問合せ先】映画『ふたりの桃源郷』配給宣伝協力：ウッキー・プロダクション(猿田) 東京都千代田区九段南4-3-3 606号室 TEL:03-5213-4933 FAX:03-6800-3686 Mail:yus@solid.ocn.ne.jp

2022年3月6日(日) 13:00~14:30
会場：石川県西田幾多郎記念哲学館

定員：100名、要申込(先着順) 参加費：無料
〒929-1126 石川県かほく市内日角井1 Tel 076-283-6600
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp ※今後の新型コロナウイルス感染状況によっては変更・中止となる可能性があります。ご来場の前にご確認ください。

■映画鑑賞後、哲学カフェを行います!
14:40~16:10 定員：15名、要申込(先着順)
進行役：大熊 玄
(立教大学准教授/西田哲学館副館長)